

はろー ばらんていあ

Harobora

2017年

2・3月

合併号

NO.210

配布・GM・GL以上(グループ・組内回覧)
人事部配布承認済

★ トヨタボランティアセンター機関誌 ★

第5回 トヨタバリアフリー講座 ～発達障がいへの理解を深めよう～

2016年12月18日(日)
豊田市福祉センター

2016年3月にスタートしたトヨタバリアフリー講座。第5回を迎えた今回は「発達障がい」をテーマに取り上げ、従業員と家族42名が参加。講話で発達障がいの種類や行動の特徴などについて学んだ後、体験プログラムを通じ、当事者がどのような「見え方」「聞こえ方」「感じ方」をするか体験。必要な支援について考えました。

発達障がいに必要な支援とは



見え方の違いを
体験してみよう

ペットボトルの底をカットし、覗き込みます。全体が見えないことを理解します。



言葉の伝わらない世界

理解のできない言葉で伝えられた時、どのような気持ちになるかを体験。



NPO法人
ユートピア若宮
土橋 真氏

幸せの輪を
広げたい



はっぴいりんぐの会
中根 紀依氏

言葉を
絵にしてみよう



言葉には「見える言葉」(絵にできる言葉)と「見えない言葉」(絵にできない言葉)があり、自閉症の人には「見える言葉」で物事を伝えることが大切です。
●見える言葉…りんご(名詞)、歩く(動詞)、5こ(数詞)←具体的な表現
●見えない言葉…やさしく、すこし、しっかり、ちゃんと←抽象的表現

ぶかぶかの軍手をはめて、
折鶴を作成



指先の感覚が違う人もいます。本人は一生懸命取り組んでいても、なかなかうまくできないこともあります。「急いで」「もっと綺麗に」など声掛けをすると気持ちが焦るので「ゆっくり待つ」ことが大切です。

私にも発達障がいを抱えている身内がいます。これまでの経験で知っていることもありましたが、改めて「発達障がい」との関わり方で気づいたこともあり、とてもよい機会でした。障がいのある方が社会でもっと活躍できるように、真のバリアフリーを目指してこれから関わっていきたいと思います。

シャシー制御開発部
梨谷 克仁さん



CONTENTS

第5回トヨタバリアフリー講座……………1
クリスマス in トヨタ会館 2016
トヨタ・ミュージアム・コンサート……………2
工場事業所窓口のボランティア活動
三好工場 泰山寮 清掃ボランティア……………2

車イス×スポーツGOMI拾い 体験会……………3
寄贈していただきました!……………3
全社収集ボランティアキャンペーン2016
結果報告……………4



トヨタボランティアセンターの
シンボルマークです

クリスマス in トヨタ会館 2016

トヨタ・ミュージアム・コンサート

2016年12月10日(土)
トヨタ会館

毎年開催しているクリスマスイベントの中で、本社開催が初めてとなるトヨタ・ミュージアム・コンサートが開かれました。運営のサポートとして、クイズの受付、バルーンアートの製作などを実施。コンサートでは、来場者の誘導や撮影、回収した収集物の集計などを行い、役員の奥様を含むボランティア16名が活躍しました。



クイズラリーの答え合わせ



バルーンアートを
来場者へ提供



コンサートの
様子を撮影



来場者を誘導

趣味の写真で役に立てればと思い、コンサートの撮影ボランティアに申し込みました。アーティストや観客の様子、スタッフの働きぶりを撮りましたが、普段よく撮る風景写真とはずいぶん勝手が違い、楽曲ごとに演出も表情も変わるので会場を動き回りました。必死に構えたレンズの先に人の笑顔が見えたとき、自分も嬉しくなりました。

車両 CAE 部
北川 裕一さん



三好工場

工場事業所窓口のボランティア活動

泰山寮 清掃ボランティア

三好工場では近隣施設である泰山寮で年2回、定期的にボランティア活動を行っています。今回は本社人事部も加わり総勢27名のボランティアが参加し、グラウンドのゴミ拾いや粗大ゴミの運搬などを実施しました。きれいになった敷地で、入所者の皆さんが過ごしやすい環境を整えることができました。

2016年11月26日(土)
障害者支援施設 泰山寮※
(愛知県みよし市)

※18歳以上の知的障がい者の社会生活への適応能力向上支援・訓練を行う施設



粗大ゴミの運搬



落ち葉拾い

9月10日(土) 泰山寮 清掃ボランティア

場 所 泰山寮 みよし市打越町山ノ神 参加人数 17名

12月17日(土) 小原学園 大掃除

場 所 豊田市沢田町座内22

参加人数 三好工場58名、トヨタ工業学園1名、
広瀬工場工務部1名、計60名



食堂を
ピカピカに



人事部・三好工場のみなさん

ボランティア参画のきっかけ作りに、人事部 職制会活動として参加しました。粗大ゴミ運搬・食堂清掃・草刈りを実施。施設の方の喜ぶ姿が見れて、嬉しかったです。今後も地域の皆さまに少しでも恩返しできるよう、ボランティアに参加していきたいと思います。

人事部
本田 将浩さん



ゴミ拾いはスポーツだ！
～街をきれいにしながら街を知る～

車イス× スポーツGOMI拾い 体験会

2016年12月22日(木) 東京本社周辺

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、誰もがストレスなく快適に過ごせる環境作りを目指し、東京本社従業員30名が街中で車イスを体験しながら、拾ったゴミの量を競う「スポーツGOMI拾い」を実施。参加者は一生懸命ゴミを拾いながらも、車イス目線になることで気付かされる街のバリアに悪戦苦闘。街での車イスユーザーへの配慮について理解を深めました。



車イスに
優しくない
「ポイント」を
書き込みます



車イス講習
まずは基本操作を
学びます



いざ、出発——!!



落ちているゴミが
目につくように

普段何気なく歩いている道を車イスで通ったり、
介助する側になることで、ちょっとした段差を乗り越えるのが大変だったり、道が斜めになっていて危ないなど、今までとは違う目線で見ることで、とても勉強になりました。これを機に自分自身の心のバリアフリー化が少しずつでもできたらいいなと思います。

東京総務部
石塚 真理子さん



体験会を通じて、車イス使用者なら当たり前の小さな段差や傾斜でも健常者目線では意外と気付かないことが分かりました。健常者だけ、障がい者だけでバリアフリーを考えるのではなく、双方の目線で考え、体感して、ともに作り上げていく必要があると思いました。

トヨタグループ(株)管理部
山田 正人さん



寄贈していただきました!

EX会 ユニット支部・
車両系生技支部



書き損じハガキ
1,021枚

寄贈

公益財団法人
民際センター

SX会 ユニット支部・
車両系生技支部



ベルマーク
29,446点

寄贈

公益財団法人
OISCA

SX会 本部



書き損じハガキ
6,832枚

寄贈

公益財団法人 民際センター

熊本地震義援金
1,072,305円

寄贈

日本赤十字社

2016年度後期
技能専修コース



ベルマーク
180,673.2点

寄贈

岩手県大船渡市
大船渡北小学校

全社収集

結果報告

ボランティアキャンペーン2016

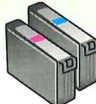
たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました!!
みなさまの温かい気持ちは関係機関を通して世界へ届けられます。

実施期間
2016年11月～2017年1月



100点で苗木1本分

ベルマーク 86,225.8点



20個で苗木1本分

使用済インクカートリッジ 4,965個

寄贈先

公益財団法人オイスカ

子どもたちに苗木を贈ろう

世界中の子どもたちが、学校の敷地や隣接地で苗木を植えていく学校単位の新しい森づくり運動「子供の森」計画を支援します。活動を通じて「自然を愛する心」「緑を大切に作る気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていくプログラムです。



公益財団法人オイスカ(OISCA)



使用済み切手

国内切手1kg=約1,390円

外国切手1kg=約6,000円

国内切手 12.8kg

外国切手 192g



1kg=約1,200円

外貨コイン 50.3kg

寄贈先

国際協力NGOジョイセフ

母と子の健康と命を守ろう



約2,000円で、女性1人が保健施設で助産師立ち会いのもと、安全に出産することができます。世界では今なお1日約830人の女性が妊娠や出産が原因で命を落としています。

国際協力NGOジョイセフ



400枚=約14,400円

書き損じハガキ 2,669枚

寄贈先

公益財団法人国際センター

子どもたちが学校に通えるよう応援しよう



経済的貧窮のため教育の機会に恵まれないラオス・カンボジア・タイ・ベトナム・ミャンマーの子ども1人を1年間学校に通えるようにするガルニー奨学金を支援します。

公益財団法人国際センター



本20冊=約10冊プレゼント※

※買い取り価格が1冊50円の場合

古本 1,288冊
(18件 33,294円)

寄贈先

特定非営利活動法人ルーム・トゥ・リード

眠ってる本で子どもたちに教育を届けよう

アジア・アフリカの多くの地域では児童書はとても貴重なものです。子どもたちの母国語で書かれた、その国の文化や年齢にふさわしい図書を届けることができます。



写真提供: 特定非営利活動法人 ルーム・トゥ・リード

収集キャンペーン
の参加者数

・個人 …… 1,158名
・職場単位 …… 98職場 9,709名

合計
参加者

10,864名

たくさんのご提供・ご協力ありがとうございました!

ボランティアに参加してみませんか?

ボランティア活動情報はトヨタグループボランティアネットワークシステム「スマイルゆうネット」から検索しよう!

PC・ケータイからさっそく
アクセスしてみよう!

スマイルゆうネット

チェック!

【PCサイト】<http://www.genki365.com/smile>

【携帯サイト】<http://genki365.net/gnkt/i/>

※観覧はできますが、活動に参加するにはIDとPWが必要です。お気軽にトヨタボランティアセンターまでお問い合わせください

トヨタ公式企業サイトにバックナンバーが掲載されております
(2011年5・6月合併号以降)。是非ご覧ください!【時間外閲覧】

http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/social_contribution/volunteer/opportunity/v_hello/index.html

はろーばらんていあ

チェック!



配布先、部数の変更がございましたら jac-V8686@mail.toyota.co.jp までご連絡ください。

はろーばらんていあ
Harobora

2017年2・3月合併号
No.210

発行

本社: 社会貢献推進部 コミュニティ・ソリューション室 環境・社会活動G (トヨタボランティアセンター)
電話: 内線 811-3-3589 外線 0565-23-3589 FAX: 内線 811-3-5748 外線 0565-23-5748 E-mail: ac-V8686@mail.toyota.co.jp
HP: <http://nt-wave.mx.toyota.co.jp/tmc/98/volunteercenter/8itePages/8TOP.aspx> (各部 → 04 渉外・広報 → 社会貢献推進部 → ボランティアセンター)
発行部署: 社会貢献推進部 コミュニティ・ソリューション室 環境・社会活動G 発行人: 布田 直昭 編集人: 大河 和彦 印刷: トヨタグループス(株)